

サバティカル期間における研究経過・成果報告書

令和5年 5月 16日	
国立大学法人茨城大学長 殿	
所属・職名 人文社会科学部・准教授	
氏 名 猪俣 紀子	
下記のとおり、サバティカル期間が満了しましたので、研究経過・成果等を提出いたします。	
サバティカル制度を利用した期間	令和4年 4月 1日 ～ 令和5年 3月 31日

<p>①研究経過について (利用期間を月単位などに区分して、具体的な研究経過を記入して下さい。)</p>	<p>4月～5月 資料整理、論文執筆 6月～9月 資料収集、閲覧、インタビュー 10月～1月 資料閲覧、講演準備 2月～3月 講演発表、アンケート実施</p> <p>6月から9月までパリに滞在し、サバティカル期間のテーマ「大衆文化におけるパリジェンヌ・イメージの変遷」について、フランス国立図書館、パリの古書店で資料閲覧、収集を行った。また在パリ邦人にインタビューを実施した。</p> <p>10月から3月までリヨン第三大学に客員研究員として滞在し、リヨン市立図書館での資料閲覧や、リヨン第三大学、レンヌ第一大学で修士課程の学生に向けての講演会、またそれぞれの機関に所属する学生に、パリジェンヌ・イメージについてのアンケート調査を行った。</p>
<p>②研究成果について (目標の達成状況及び研究成果の公表予定について記入して下さい。)</p>	<p>1) 執筆</p> <p>a) 刊行済み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『びらんじ』「フランスにおけるバンドデシネ研究史」、びらんじ50号、2022年9月 ・「マンガこの1年」、東京新聞、2022年12月23日 <p>b) 刊行予定(原稿提出済み)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「まんが」、ブリタニカ国際年鑑2023年、2023年5月刊行予定 ・「ベルギーBDとはなにか」、『日本とベルギーの交流史』(仮)松籟社2023年11月刊行予定 <p>2) 講演会・研究発表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「Illusion parisienne au Japon」、レンヌ第一大学日仏経営センター、2月15日 ・「ベルギーBDとはなにか」、海外マンガ交流部会第15回公開研究会、2月18日 ・「Images des Parisienne dans les médias féminins japonais de l'après-guerre」、リヨン第三大学日本学学科、3月2日 <p>フランスで閲覧、収集した資料、実施したインタビューとアンケート調査については今年度発表を予定し準備を進めている。</p>